

ゆめスタ マガジン

2025

06

YUME

MAGA



自由な発想と自分らしさで
誰かの想いや挑戦に寄り添う

Traliebe Design Office

田中 麻椰

Maya Tanaka

ゆめマガ

ゆめマガ

**未来へ向かって羽ばたこうとする
若者・学生たちを応援する雑誌です!**



ゆめスタマガジンとは

進学や就職、留学、ボランティア活動など、あらゆるフィールドで夢を追いかけるあなたをサポートするために、リアルな成功体験や失敗から学んだ貴重なストーリーを紹介！さらに、専門家によるアドバイスや最新トレンド情報も満載で、あなたの可能性を広げるヒントがきっと見つかります！

「こんな道もあるんだ！」と新たな発見や気づきを得られる情報誌！

**自分らしい未来を切り拓くためのきっかけをこの雑誌で手に入ませんか？
一歩踏み出すあなたを、心から応援します！**

ゆめスタパートナー 学校紹介



校長先生 インタビュー



NAGOYA UNIVERSITY OF ECONOMICS

ICHIMURA HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE 2025





Event Information

部活動体験会

8.26(月)～28(水) 9:30～12:00

個別相談会

8.26(月)～30(金) 9:30～12:00

夏の学校見学会

8.29(木)・30(金) 9:30～12:00

学校説明・体験授業・校内施設見学

文化祭

10.19(土) 校内見学 9:00～

※中学生の方は制服を着用し、生徒手帳を持参してください。

秋の学校見学会

10.26(土) 9:30～12:00／13:30～16:00

学校説明・体験授業・部活動体験・校内施設見学・個別相談

入試・入学説明会

11.30(土) 9:30～12:00／13:30～16:00

入試解説・面接対策・校内施設見学・個別相談

ICHIMURA Exhibition Day

(生徒による探究成果発表会)

3.11(火) 9:00～

※開催方法・日時は変更になることがあります。

詳細は事前に必ずホームページにてご確認ください。

Access 交通アクセス

地下鉄	■今池駅(東山線・桜通線)より徒歩15分 ■ナゴヤドーム前矢田駅(名城線)より徒歩18分
市バス 名鉄バス	■北千種町より徒歩2分 ■都通一丁目より徒歩5分 ■古出来町より徒歩7分
J R	■大曽根駅南口より徒歩20分 ■千種駅より徒歩18分



名古屋経済大学 市邨高等学校

〒464-8533
名古屋市千種区北千種3-1-37
TEL 052-721-0161
FAX 052-721-0211
<https://ichimura.ed.jp>



いちむら

生きる、出会う、学ぶ、変わる。





いかなる時も

ちからを合わせ

むげんの可能性を

らんまんに生きる

今、この瞬間に思い描く未来は、希望にあふれていますか？

未来は予測するものではなく、自ら創り出すもの。

未来のあるべき姿は、時とともに変化する。

あなたの未来も、あなたの学びが深まるたびに、日々刻々と変わっていく。

あなたの思い描く未来は、きっと明るくなっていく。

～AIには生成できない未来を～

いちむらの考える「学び」とは？

学びとは、

体験すること・探究すること・主体的であること

みんなと、時にはひとりで、
何かに深くのめりこむ。

考える、やってみる、失敗する→
ふり返る、反省する→またやってみる

このサイクルが「学ぶ」ということ。
そのくり返しで知識をふくらませ、

理解をより深めていく。

学びは本来「自由」なもの

学びは本来「楽しい」もの

競争ではなく、「**共創**」(共に創りあげること)

学力は、「**楽力**」(学びを楽しむ力)から。

「学び」を自分で創り出し、

「学び」に向かって

自分から行動すること。



学びは教室の中だけじゃない。
どこかへ出かけて、
あるいは家にいながら
何かに触れて体験して、
そこで考えたことを
語り合うのが学びなら、
学びは日々の中にある。
生きることは学ぶこと

新しい何かに出会う。
ひと、もの、考え、生き様…
そこから何かを得るなら、
出会うことは学ぶこと
一生の宝物になるかもしれない。
何の役にも立たないかもしれない。
今はそんなこと分らない。

学ぶ意味って？
内面の成長 心の成長
大げさに言うけれど、
毎日何かの変化があればいい。
学ぶことは変化すること
昨日とは違う新しい自分を創っていくこと。
少しの変化が積み重なって、
ふり返ってみると、その成長に気づく。

生きる、出会う、学ぶ、変わる。

いちむら **Ichimura Method** メソッドで、

自分だけの未来が見えてくる



未来を切り拓いていく皆さんへ！

明るい未来、幸せな未来を作っていくのは、まぎれもなく皆さんです！皆さんが協力し合って創っていくのです。そうやって一緒に創っていく仲間の中に、何事にも積極的に、失敗を恐れず、いろいろなアイデアを出しながら自分から動いていくような人がいたら、心強いと思いませんか？きっとこれからの社会に必要な不可欠な人材で、皆から頼りにされる存在であるはずです。しかし、周りを探する必要はありません。あなた自身がそうなるのですから。

そのためには、どうすれば良いのでしょうか？社会に出た時に必要な力は、「自ら学ぶ力（能動的行動力）」と「知識を活用する力」、「新しいものを創造する力」です。皆さんは大学など、社会に出る一歩手前において「新しいものを創造する力」を身に着けていくと思いますが、「自ら学ぶ力（能動的行動力）」と「知識を活用する力」はそれより前にすでに持っている必要があります。ということは、高校卒業時までにはどのような準備が必要か、見えてくるはずですが、これらの力を身につけることは、従来のカリキュラムでは育成しにくいものでした。そこで本校では2022年度からカリキュラムを一新しました。

従来型からの大きな方向転換であるために、困難が伴い多大なエネルギーを必要としましたが、正しい道が見えている以上、前進していくのが市邨です。本校は商業教育の先駆者である市邨芳樹先生が創立しました。市邨は以前からもこれからも先駆者であり続けます。世の中の変化は、これからもますます激しくなっていきます。それに合わせて、学校も変化し続けなくてはなりません。新たな時代に必要とされる教育の中で、本当の意味での成長をしませんか。周りから頼られつつ、ともによりよい未来を目指していく。そのような人こそ、活力に満ちた幸せな人生を送ることができるのではないのでしょうか。

校長 若山 和彦

いちむら

教えて校長先生！ 特別インタビュー



今回の校長先生は
名古屋経済大学 市邨中学校・高等学校
校長先生の若山和彦さんです！



夢は変わってもいい。でも、あきらめる必要はない。

—校長先生のご経歴について教えてください。

名古屋工業大学で工学を学び、数学の教員免許を取得して卒業後すぐに高校の先生になりました。

本当はテレビのプロデューサーにも憧れていたんです。でも、部活と仕事の両立ができるのは教員だと思って、この道を選びました。最初の勤務校は豊明高校でした。

—豊明高校での最初の経験は？

当時の豊明高校は新設校で、みんなが大学進学を目指して一生懸命に頑張っていました。僕自身が通っていた高校は自由な雰囲気だったので、最初はルールが多さに戸惑いました。でも、社会に出るとルールは必要だし、それをどう伝えるかが大事だと気づいたんです。

—その考えは今の教育にも影響していますか？

はい。ルールは生徒を縛るためではなく、「生徒のため」にある。そう教えてくれた先輩方の姿勢が、今の教育観にもつながっています。生徒の成長をサポートする教職は、究極のボランティアみたいな仕事で、本気で生徒と向き合う仲間と囲まれていたことが、僕の原点です。

—その後、日進高校に18年も勤務されたとか。

そうなんです。日進高校には、少し学校に馴染めなかった子たちが多く来ていました。でも彼らは素直で吸収力がある。こちらのアドバイスを真っすぐ受け止めてくれて、やる気さえあればどんどん成長していく。やりがいのある環境でしたね。

—特に印象に残っている生徒はいますか？

たくさんいますよ。通知表がオール3に満たない子が、生活習慣から見直して、最後には医学部に合格したり。駅の掃除を始めて、地域の人に「ありがとう」と声をかけられ、自分の価値に気づいていった子もいました。勉強が得意じゃなくても、自分の強みを見つけて社会で活躍することはできる。そう信じて、常に「今からでも変わる」と伝えてきました。

—指導の中で、反省もあるとお聞きました。

はい。受験指導で僕がすべて教え込んでしまい、生徒自身の力を伸ばしきれなかったかもしれないと感じることもあります。今なら、「自分で考え、行動できる力を育てる」指導に切り替えていると思います。

—それはすごいですね！

最初は問題行動も多かったですよ。生徒指導案件が年間300件以上。でも、最後の年には30件ちょっとまで減っていました。やっぱり、人って変わるんです。ルールを教えて、意味を伝えることで、生徒たちも「もうやめよう」と思えるようになるんです。

—今の高校生に伝えたいことは？

夢は変わってもいい。でも、あきらめる必要はない。やりたいことが変わるのとは自然なこと。大事なのは、「今、本気で向き合っているかどうか」です。失敗したっていい。そこから学べば、それは前に進む力になるから。自分の可能性を信じて、何度でも挑戦してください！



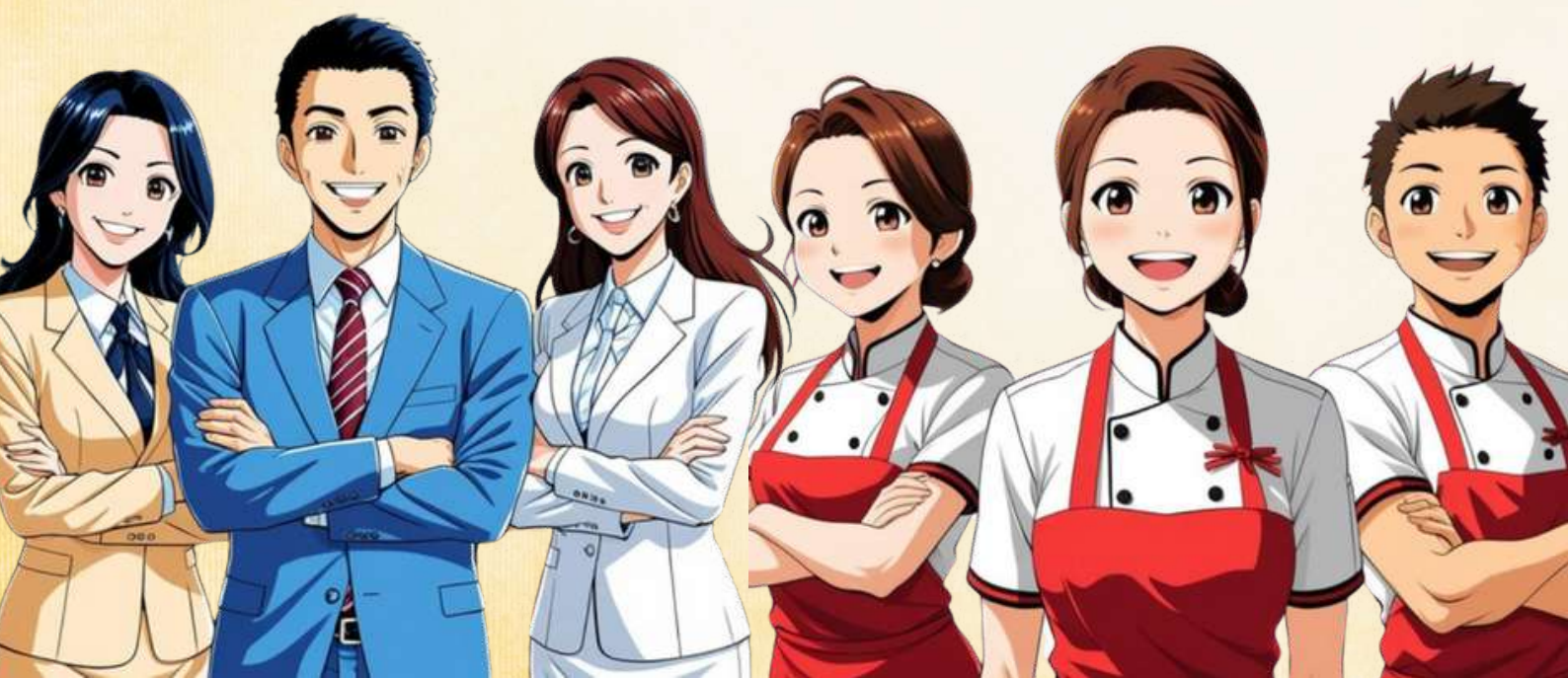
名古屋経済大学 市邨中学校・高等学校
校長 若山 和彦

ゆめスタ運用会社
株式会社Sing
社長 渡邊 大輝



ゆめスタパートナー

企業





紹介



愛知県を代表する企業ベスト100にも選ばれている
愛知県名古屋市港区にある
株式会社マルトモさんをご紹介します！



Let's マルチモ!





ゆめスタパートナー



ご挨拶

私たちマルトモは1946年から現在に渡り鑄造技術を磨き続ける鑄物のプロフェッショナル企業です。製造する産業も様々な分野のユーザー様とお取引させて頂いております。工作機械・産業機械・鍛圧プレス機械・ダイキャストホルダーなど多くの産業に携わらせていただいています。

鑄物製造はモノづくりの原点のような作業が多く完成後の喜び、嬉しさは作った者にしか分からない所が多数あります。今後も歴史のある鑄造技術を継承しつつ現代の手法も取り入れ合わせながら更なる技術革新で進みます。そして働く社員が安心して働ける職場、働く社員の家族が安心して送り出せる会社、働く人が誇りをもてる企業づくりを目指していきます。

代表取締役 錦見 裕介



株式会社マルトモはどんな会社ですか？

社員一人一人がモノづくりの誇りを持ち
家族に安心して送り出してもらえる企業をめざしてします！

マルトモは、整理・整頓・清潔な職場を保ち、社員全員の安全を守り、これまで培ってきた技術力を活かし、お客様に喜ばれる製品をつくります。

常に高い品質を追求し、お客様の期待に応え続けます。

個人の役割だけに固執せず、互いに協力して、適正な利益を確保することで、会社を発展させ、社員全員の暮らしを守ります。



ゆめスタパートナーになった理由を教えてください！

若者はまだ経験が少なく、失敗や成功から学びながら成長していきます。

誰かがそばで応援してくれることで、「自分には価値がある」「頑張ればできる」といった自己肯定感や自信が育まれると思います。

マルトモは、今年（2025年）素晴らしい高校新卒の社員が4名入社してくれました。

新しいことに挑戦するとき、不安や緊張がつきものです。そんなとき、ゆめスタパートナーとして応援があると「やってみよう！」「自分の夢を追いかけるために頑張ってみよう！」という勇気が湧いてくる。

応援は、挑戦する原動力になると思っていますので、ゆめスタを通じて従業員、若者を応援するためにパートナーになりました。

社長インタビュー！



仕事をする上での想いや理念を教えてください！

「誰かの役に立つこと」が自分の喜びで、仕事とは、社会や人のために何かをすることだと思っています。スピードや効率が求められる時代だからこそ、「誠実さ」や「丁寧さ」は仕事における信頼の基礎になると信じています。

小さなことにも手を抜かず、相手の立場に立った行動を心がけています。

失敗を恐れず、常に学び、変化に柔軟に対応することで、仕事を通して自分自身も成長し、周りにも良い影響を与えられるような存在でありたいと思っています。

どんなに素晴らしい成果も、ひとりでは達成できません。

一緒に働く仲間とその家族を尊重し、お互いを支え合いながら成長していけるようなチームづくりを大切にしています。



若者活躍に向けて取り組んでいる内容がありますか？

自主性を育てるような「学びの場」の提供（外部講師を招いた講座、研修会など）に取り組んでいます。

年齢や経験に関係なく、意見を出しやすい風通しの良い職場づくりをテーマにして、ディスカッションや定期的な面談で悩みや不安をフォローし、長く活躍できるような仕組みをつくっています。

若者は未来を創る大切な存在です。私たちは、その一人ひとりが自信を持ち、やりがいを感じながら社会で活躍できるよう、学び・挑戦・支え合いの場を提供し続けます。未来の担い手を育てることが、今を生きる私たちの責任であり、喜びでもあります！



今後の目標を教えてください！

社員を増やし、組織を拡大する中で、若手が挑戦できる環境を整え、成長と活躍を後押ししていきます。

会社を成長させるうえで、まずは仲間（社員）を増やすことが大切だと考えています。

ただ社員を増やすだけでなく、一人ひとりとしっかり向き合い、特に若手がチャレンジできる環境を整えることを重視していきます。

そして、一人ひとりが自分の目標や夢を持ち、それに向かって進んでいける会社でありたいと思っています。

その想いを大切にしながら、一緒に会社も成長していけたら嬉しいです。

若手でも遠慮せずにチャレンジできる環境をつくることで、個人の成長がそのまま会社の力になる、そんな組織を目指しています。



学生に向けてのメッセージをお願いします！

みなさんが今過ごしている「学生生活」は、人生の中でもとても貴重な時間です。

勉強、部活、友だちとの時間、悩みや失敗も、すべてが自分をつくる「経験のかけら」です。

未来のことを考えると、不安や迷いもあるかもしれませんが。

でも、今のあなたにしかできないこと、今だからこそ感じられることが、きっとあると思います。

大切なのは「自分を信じること」と「一歩踏み出す勇気」。

完璧じゃなくても大丈夫。失敗しても大丈夫です。

挑戦する気持ちこそが、あなたの未来を動かす力になります。

これから先、どんな道を選んでも、あなたらしく進んでください。応援しています！

マルチモで活躍する



勝山 拓斗さん

Q 入社理由は？

製造業の仕事をしたいと思っていました！
SNS (tiktok) をみて、楽しそうな会社で親友と働ける環境だったからです！

Q いま一番楽しいと思う時は？

仕事終わって、寮の食堂で皆でご飯を食べるときです！

Q 入社して良かったことは？

先輩たちがとにかく優しいです！
仕事も丁寧に教えてくれるので、自分の成長に繋がっています！

Q 勝山さんの「ゆめ」をおしえてください！

22才までに車を買うことです！

Q 入社理由は？

モノづくりに興味があり、マルチモの設備や製品が魅力的だったからです！

Q いま一番楽しいと思う時は？

同期や先輩たちとワイワイ楽しく話したり、食事をしている時です！

Q 入社して良かったことは？

最初は不安だったけど、先輩たちも優しく教えてくれて、自分に自信が持てたことです！

Q 山根さんの「ゆめ」をおしえてください！

30才までに一軒家の家を建てる！



山根 千雄三さん

新卒社員のご紹介



山野 瑛斗さん

Q 入社理由は？

九州から県外にでて一人暮らしをしようと思っていた！
担任の先生にマルチモを紹介してもらって、入社を決意しました！

Q いま一番楽しいと思う時は？

仕事でやれることが増えた時と先輩や同期と楽しく話している時です！

Q 入社して良かったことは？

寮の食堂で出てくるご飯がすごくおいしい！
先輩が優しいことです！

Q 山野さんの「ゆめ」をおしえてください！

22歳までにスポーツカーを買って親とドライブ！

Q 入社理由は？

担任の先生からのオススメされて、製造業に興味があったからです！

Q いま一番楽しいと思う時は？

同期の新卒メンバーと名古屋にいった観光したり、会社の食事会でワイワイ楽しく先輩たちと盛り上がっている時ですね！

Q 入社して良かったことは？

先輩たちが優しく仕事を教えてくれます！
ミスしても、わかるまで教えてくれるので本当に助かってます！

Q 悠真さんの「ゆめ」をおしえてください！

25才までに結婚すること！



ブリティン悠真さん

株式会社マルチモ

ゆめスタプロジェクトの取り組み内容

MA

【組織活性化のグループディスカッション】



『お弁当代を半額にする』『休日を増やす』『作業マニュアル動画制作』など
お菓子を食べながら楽しく社員が自分たちで「組織の活性化」をテーマにし、企画してディスカッションをおこなっています！

「自分たちのことは、自分たちで決めていく」「そして、みんなでいい会社を創っていく」
不良品の削減や生産性の向上を掲げて、毎日頑張っています！

【社員エンゲージメントの向上研修】



社長、取締役、班長たちと社員エンゲージメントの向上研修を実施しています！

【社員エンゲージメントとは】

「社員が自分の仕事や組織に対して愛着や誇り、やる気を持ち、主体的に貢献しようとする意欲や姿勢」のことを指します。

「マルチモで頑張りたい」と社員に思ってもらえる関係づくりや人材育成の仕組みを学んでいます。
人が組織を動かすからこそ、「人の気持ち」を大切にできる企業が、強くなっていると思います！

RUTOMO

【おしゃれ制度】



社員の皆さんのおしゃれを応援する☆おしゃれ制度☆

←社長です！

月に1回、専用のアプリに自分の私服を投稿して、抽選で選ばれた社員に『1万円』をプレゼントします！

【ゆめスタプロジェクト】



新卒社員の4名が自分たちの「ゆめ」をみつけて、スタートしていくためのプロジェクトです！

「車が欲しい」「家を建てたい」「結婚したい」など、全員でゆめの共有をして、叶えるためにマルトモは全力で応援しています！

1600点を超える品種を取り扱い、月間6000万本以上の製品を出荷しているメーカー！
愛知県江南市にある
株式会社尾北さんをご紹介します！



Let's
びほく!





ゆめスタパートナー



代表取締役 河村 和幸

ご挨拶

当社は、1951年（昭和26年）の創業以来、半世紀以上に渡り、主に自動車用のねじ・小物部品の製造に携わって参りました。

自動車業界で要求される高レベルな製品に対応すべき、ねじ・小物部品加工に伴うあらゆる加工分野を協力会社と共に築き上げ、お客様の要望に応じた製品を多品種少量から大量生産までフレキシブルに対応できる一貫生産体制を整えてきました。また、常に高品質かつ廉価な製品が求められていく中においても、「お客様にとっては、その一本がすべてである」ことを念頭に置き、絶えず一本に対するこだわりを持ち、改善を積み重ねながら、お客様のニーズに応えられる製品造りを全社員で取り組んでおります。今後も益々進むグローバル化と多様化したニーズ、そして世界各所で起こる多様な変化に柔軟に対応すべく、お客様の声に絶えず耳を傾け、喜ばれる製品づくりに努め、会社を発展させ、地域社会のために貢献できる企業を目指します。



株式会社尾北はどんな会社ですか？

信用を造り、期待を造り、人を造りそして地域に感謝！

当社はねじ類専門のメーカーです。

取り扱うねじ製品は、主に自動車用に利用されており、800点を超える品種を取り扱い、月間3000万本以上の製品を出荷しております。

長年培った技術を駆使し、ねじ、小物部品の生産にともなうあらゆる加工の分野を内外製にてカバーしており、お客様の要望に応じた多彩な加工、形状を多品種少量から大量生産までフレキシブルに対応できる一貫生産体制を整えております。



ゆめスタパートナーになった理由を教えてください！

私が若者を応援したいと思う理由は、自身の若い頃の経験にあります。何も分からずがむしゃらに働く中で、多くの先輩方に支えられ、成長することができました。今度は私が、その恩返しをする番だと感じています。製造業は一見地味に見えるかもしれませんが、ものづくりの面白さや、形に残る仕事のやりがい、若者にとって大きな魅力になるはずです。若い人たちが持つ柔軟な発想力と行動力は、会社や業界の未来に必要不可欠です。彼らが挑戦し、成長できる場を提供することが、結果的に企業の発展にもつながると信じています。

夢を見つけること、夢へと進むこと、夢を叶えることを私も応援したいと強く思ったからです！

社長インタビュー！



仕事をする上での想いや理念を教えてください！

仕事をする上で私が大切にしているのは、「人の役に立つものを、真心を込めてつくる」という姿勢です。製造業は派手さはないかもしれませんが、社会を支える重要な基盤です。自分たちの作った製品が誰かの暮らしや仕事に役立っていると実感できたとき、大きなやりがいを感じます。若い皆さんには、まず「やってみる」ことを恐れずに挑戦してほしい。失敗も成長の糧になります。技術は後からついてきます。誠実にコツコツ取り組む姿勢が、信頼を生み、チャンスを引き寄せます。ものづくりには、人としての成長のヒントがたくさん詰まっていると思います！



若者活躍に向けて取り組んでいる内容はありますか？

私たちが取り組んでいるのは、まず「学べる環境」を整えること。未経験でも一から丁寧に指導できるよう、先輩社員とのペア制や定期的な技術研修、人材育成研修などを行っています。また、若手の意見やアイデアが出しやすいように、年齢や役職に関係なく自由に発言できる風通しの良い職場づくりを心がけています。さらに、挑戦する姿勢を評価し、失敗を責めない文化を育てることで、「やってみたい」という気持ちを後押ししています。製造業は経験が力になる業界ですが、その土台となるのは日々の積み重ねと本人のやる気です。若い人たちが安心して挑戦し、成長できる環境を、これからも整えていきます！



今後の目標を教えてください！

これからの時代、技術や機械だけでなく「人」が企業の力になると強く感じています。だからこそ、私たちの会社では“人を造る”ことをテーマに掲げています。技術は教えれば身につきますが、自ら考え、行動し、仲間と協力できる人材を育てるには、時間と環境づくりが不可欠です。今後の目標は、ただの作業者ではなく、現場を支え、未来をつくる人材を一人でも多く育てることです。そのために、教育体制の充実や、若手がリーダーとして挑戦できる仕組みを整えていきます。また、失敗を恐れず成長できる職場づくりを通じて、社員一人ひとりが「自分の仕事に誇りを持てる」会社にしていきたいと考えています。技術と人の力で、未来へつながるものづくりを目指します！



学生に向けてのメッセージをお願いします！

私たちの会社では、「夢を変える」というテーマを大切にしています。それは、最初に思い描いた夢だけがすべてではなく、経験や出会いの中で夢は何度でも形を変え、広がっていくものだと考えているからです。製造業に興味なかった人でも、実際にモノづくりに触れて「面白い」「もっと知りたい」と思える瞬間があります。私自身も、最初から社長を目指していたわけではありません。仕事を通じて、人とのつながりやものづくりの魅力を知り、自然と夢が変わり、広がっていったのです。学生の皆さんには、「今の夢にこだわりすぎないこと」「一歩踏み出す勇気を持つこと」を伝えたいです。夢は変わっていい。変わるたびに、新しい自分と出会えるチャンスがあります。その変化を楽しみながら、自分の可能性を広げてください！

尾北で活躍する
若手社員のご紹介



谷口 一輝さん
ITHUKI TANIGUTHI

Q 入社〇年目、現在の担当業務

入社2年目で製造グループです！

Q どんな学生時代を過ごしていましたか？

高校生の時は、ひたすらクラブに励んでいました！

9割クラブ、1割勉強ぐらいの比率で過ごしていました！

Q なぜ今の会社を選んだんですか？

父が工場で働いていて、父の影響で自分も
工場の仕事がしたいと思ったからです！

Q 入社してから「成長した」と感じることは？

入社したては、『ミスがないか』『製品をちゃんと造れているか』など
不安だったけど、最近ではできることも増えて、自信が持てるようになっていきます！

Q 仕事を通して学んだことは？

毎日が勉強と成長だと思っています！

部下の教育ができるように、自分自身の成長を止めてはいけないと思っています！

Q 今後挑戦したいことやキャリアの展望はありますか？

明確には、決まっていなくても、役職を上げていきたいです！

Q この会社の「ここが好き！」ってところは？

一年に1回の懇親会があります！

BBQや食事会など、会社で楽しいイベントがあるところです！

Q これから入ってくる後輩に伝えたいことは？

若さを武器にして、一緒に頑張っていきましょう！

楽しい職場ですよ！

Q 若手から見た“この会社で活躍する人”ってどんな人？

製造業に限らず、本気で仕事をしている人は『カッコいい』と思います！

僕に尾北で働く人は活躍する人だと思います！

Q 最後に、就活生・これから入社する人へのメッセージを！

自分を信じて、一緒に自分の夢に向かって挑戦していきましょう！

尾北で活躍する
若手社員のご紹介



青山 功太郎 さん
KOHTARO AOYAMA

Q 入社〇年目、現在の担当業務

今年（令和7年）の4月に入社しました！担当業務は製造グループのRLです！

Q どんな学生時代を過ごしていましたか？

イラスト（アニメ風）を学んだり、友達とお互いに教え合って
実力を固めてまりました！

Q なぜ今の会社を選んだんですか？

元々、モノづくりに興味があったからです！

Q 入社してから「成長した」と感じることは？

自分で考えるか。何をすべきか。など
自分で考える力が付きました！

Q 仕事を通して学んだことは？

チームで仕事をしていくために、コミュニケーションや報連相を学んでいます！

Q 今後挑戦したいことやキャリアの展望はありますか？

製造のスペシャリストのような存在になりたいと考えております！

Q この会社の「ここが好き！」ってところは？

教育がとても丁寧で分かりやすいところです！

Q これから入ってくる後輩に伝えたいことは？

わからないことは何でも聞く！優しい先輩たちばかりです！

Q 若手から見た“この会社で活躍する人”ってどんな人？

ネジや機械に詳しい人達ばかり！（スペシャリスト）
尾北は、モノづくりに興味がある方なら、活躍できる環境だと思います！

Q 最後に、就活生・これから入社する人へのメッセージを！

自分のやりたい事をみつけるのは、かなり難しいと思いますが、自分としっかり
向き合って自分に合った会社や職業をみつけてください！

株式会社尾北 ゆめスタプロジェクトの取り組み内容

BI

【グループディスカッション】



会社に新しい制度や取り組みを企画するグループディスカッション！

役職や年齢関係なく、意見を出し合っています！

社内に設置してある、自動販売機の値段を下げたり、お食事会などのイベントを企画してます！

【班長勉強会】



班長達と人材育成につての勉強会です！

社長、執行役員も参加してます！

どうやったら、『従業員が楽しく働けるようになるか』『活躍できる人材を育成する』など
月に1回の勉強会を実施しております！

HOKU

【なんでも相談窓口】



日勤でも夜勤でも常に『なんでも相談ができる』公式LINEと人材育成の顧問を設置しています！

仕事のことはもちろんのこと、プライベートの相談もできる環境が尾北にはあります！
問題や悩みなどをすぐに話し合っ、早期解決ができる環境を目指しています！

【ゆめスタプロジェクト】



尾北では『ゆめスタプロジェクト』を通じて、若手社員が抱えている「夢」や「やってみたいこと」を応援する企画を考えています！

- 若者の挑戦意欲を育てる
 - 社内外に“応援文化”を根づかせる
- をテーマにして楽しく実施しています！



STAR

INTRODUCTION

「絶対に夢を叶える」

限界は自分が決めるもの

どんな壁も乗り越える

あなたの可能性を解き放とう

人・企業・行政・学校・地域をつなぐ、希望の架け橋に



STARインタビューについて

STARインタビューは『夢をスタートして叶えるプロジェクト ゆめスタ』の一環で『夢を叶える為にがんばっている人』を応援するサイトです。

夢に向かって進んでいる人を私たちは『STAR』と呼んでいます。

夢を叶える為に『START』している人は『STAR』のように輝いている為です。

日本におけるZ世代の4割程度が、今後の景気の悪化・停滞により、結婚・出産や住宅購入、昇給などといった個人のキャリアの展望やライフイベントが困難になると予想しています。

ただ、この闇を切り裂くのも若者の力と確信をしています。

少しでも、STARの力になり、寄り添いながら、より良い地域にする為に。

私たちは全力でSTARを応援し続けます。



自由な発想と自分らしさで 誰かの想いや挑戦に寄り添う

Traliebe Design Office

田中 麻椰

Maya Tanaka

1995年、愛知県生まれ。学生時代は音楽活動に没頭し、社会人としては自動車営業を経験。その後、諦めきれなかった動物看護の道に飛び込むも、現実の厳しさに直面し挫折。この経験がきっかけとなり、“人の想いを形にする仕事”に惹かれ、デザインを学び始める。現在はSingにて、採用支援や企業ブランディングに携わるうちに人や企業の魅力を“伝わるカタチ”に変えることに喜びを感じ、将来的にはクリエイティブに特化した会社の設立を目指している。

STAR interview

デザインの力で企業の魅力を最大限に

Q.事業内容について教えてください。

『仕事が苦しいという常識を180度変えて、仕事が楽しいに変えていく』これをベースにお客様の課題に対して、採用支援、営業代行、組織コンサルティングなどを通じて課題解決のサービスを提供しております。採用のマーケットに関して、サービスが飽和状態になっているので、何が良くて何が悪いかが分からない状態だと思われます。ここに対して、弊社が自信と実績をもったサービスを提供することで『現在の人手不足』『将来の人手不足』の双方を解決しております。仕組みを入れて自走できる状態にし、上司も部下も活躍し『仕事が楽しい』に変える事業を行っております。



Q.事業のやりがいを教えてください。

総合人財コンサルティング会社の常務兼デザイナーとして、日々さまざまな企業の課題に向き合っています。中でも特にやりがいを感じるのは、「採用」という企業の未来を左右する重要な場面で、デザインの力が大きな影響を与えられることです。単に見た目を整えるだけではなく、企業の本質や想いを“伝わるカタチ”に落とし込み、求職者の心を動かす。その過程には、企業の魅力を掘り起こし、言語化・ビジュアル化し、世の中に届けていくというクリエイティブな挑戦があります。



無力さを痛感し、本当のやりたいを明確に

Q.学生時代を教えてください。

幼少期はどちらかというと元気いっぱいな方で男子ともよく遊ぶ活発だったという風に記憶しています。学生時代はずっと音楽がそばにありました。幼少期にピアノやトランペットを習い、大学ではバンドに憧れてベースを担当。仲間と音を重ねながら一つの曲を作り上げていく過程が大好きでした。個性を活かしつつ、全体として調和を生む——その経験は、今のチームづくりやクリエイティブな仕事にもつながっていると感じています。



Q.今までに大きな壁はありましたか？

私にとっての最初の大きな壁は、「憧れ」だけで飛び込んだ動物看護の道でした。動物が好きという気持ちだけで進んだものの、現実には想像以上に厳しく、命と向き合う責任の重さや、自分の無力さを痛感する日々。理想と現実のギャップにぶつかり、将来に迷いも生まれました。

でもその経験があったからこそ、自分が本当に向きたいのは「人」や「想い」であり、それを形にして届けることだと気づけました。遠回りだったかもしれませんが、あの壁があったから今の自分があります。



誰かの想いや挑戦に寄り添える会社を

Q.今後の展望を教えてください。

今後は、クリエイティブを軸にした会社を立ち上げたいと考えています。これまで培ってきたデザインやブランディングの経験を活かして、企業や人の魅力を“伝わるカタチ”にするお手伝いを、もっと自由な発想と自分らしいスタイルで届けていきたい。また、ペットとして犬を飼っているので、ペットに関する事業もやってみたいと考えています。自分が嬉しいことを誰かにも提供することで、少しでも喜んでもらえると嬉しいです。チームとしては、誰かの想いや挑戦に寄り添える、そんなチームをつくるのがこれからの目標です。





日本の未来を本気で変える 仲間と共に輝く未来を

株式会社Sing 社長
渡邊 大輝
Taiki watanabe

1992年生まれ。愛知県出身。社会人までサッカーを行っていた。物流や人材派遣、人材紹介会社にて採用、定着、組織活性化について学ぶ。その後、Singの代表と出会って「今の日本を誰かが変えるのではなく、俺たちが変える」この理念に共感し、一緒に仕事をすることを決める。『全ての人が輝く社会』を関係する人たちと協力し、今よりもっと輝く日本を創りあげる覚悟から社長へ。

STAR interview

今の日本が抱える問題点と解決策とは

Q.事業内容について教えてください。

人財総合支援として人財採用支援、定着支援を軸とし人財戦略やブランディングという観点からお客様をサポートしています。人手不足と言われている日本の現状に対して社員の離職が大きな問題です。原因として『人間関係』が大きく占めます。何故、これが発生するかというと『上司』が『上司としての仕事』を十分に教わっていないことや、組織的な仕組みに問題がある為です。この仕組みを入れて自走できる状態にし、上司も部下も活躍し『仕事楽しい』に変える事業を行っております。



Q.事業のやりがいを教えてください。

私たちが提供しているサービスによって笑顔が増えることが何より嬉しいですね。人手不足の企業が増えている中で、いかにして企業側は、人の確保をしていくかが重要になっています。そこに対して、使い捨てるような『うちに合わないなら辞めたら?』というスタンスではなく、『若者に合わせてやり方を変えないといけない』の感性に企業が変わり、新人の方と面談した時に改善が進んでいる時にとっても大きな喜びを感じています。日本が抱える大きな社会問題の解決に向けて、着手できているというのは大きなやりがいになってます。



最後の1秒まで勝ちを信じ続け行動する

Q.学生時代を教えてください。

私は学生時代からずっとサッカーをしていました。ポジションはフォワードでストライカーとして常にゴールを狙い続けていました。どちらかというと『めちゃくちゃ賢い!』というよりも『スポーツが上手な文系』ってイメージですね。学生時代に自分を変えてくれたエピソードがあって、大事なサッカーの試合で相手が競合校で負けそうな雰囲気になっている時に「絶対、勝つぞ!」って声がチームメイトから出てきた時があり、『気持ちで絶対に勝たないとダメだ』と思った記憶があります。それから諦めそうな時こそ、この場面を思い出して自分を奮い立たせています。



Q.社長をしていて壁はありましたか?

特に思い入れのあるエピソードとしては、資金繰りがうまくいかずにどうやって従業員の給料を払えばいいのか?の壁にぶつかった時が、今までで一番キツイ思いをしました。今まで従業員としていかに守られていたかを痛感した瞬間でした。諦めるつもりは1ミリもなかったので、どうやったら良いかを考え、仲間に相談をしながら、より顧客満足度が高いサービスを考え事業を根本的に見直しました。結果、売上が回復し、資金繰りが回るようになりました。どんな問題であっても、諦めずに考え、自分1人ではなく仲間と一緒に考え抜けば、必ず壁は乗り越えられると大きな自信になりました。



最高の仲間たちだから描ける最高の未来

Q.今後の展望を教えてください。

人生が苦しいもの、仕事が苦しいという概念を変えて、『人生が楽しい』『仕事が楽しい』という概念に変えていきたいですね。本当に今の世の中は若者が夢を見づらい時代だと思います。私も逆の立場だったら同じことを思います。しかも超高齢化社会、少子高齢化は日を追うごとに拍車がかかっていきます。SNSを開けば絶望度が増す内容が多々あります。だから、諦めるではなく、だからこそ夢を持てるようにするのが私の使命です。

一番、ありがたいのは、この青春じみたことを一緒に叶える仲間がいることです。この最高の仲間たちと輝く未来へと変えていきます。





人の成長こそやりがい 新たな自分、 輝く場所をつくる為に

株式会社 フライ・トップ
代表取締役社長 屋宜 勝正
Katsumasa Yagi

1994年生まれ。愛知県出身。

自動車メーカーの整備士へ就職し、もっと人の喜びを体感できる業種を求め、人材派遣会社へ転職する。

3支店の支店長を経験し、うち新店舗として1店舗の立ち上げ成功させ、人材マーケット戦略及び組織構築のノウハウを身に着け、株式会社フライトップの代表を務める。

STAR interview

日本で唯一無二の派遣会社を目指す

Q.事業内容について教えてください。

弊社は現状をより良くしたい求職者と人手に困っている会社をマッチングさせる事業を行っております。特徴としては人材紹介だけでなく、お取引企業様ごとの採用、定着までのサポートを行っていることです。

人材紹介会社は4万社を超えてる中、付加価値を付けたサービスのご提供と、人材不足解消に向けた情報提供を行い、お取引企業様のご発展をアテンドするよう心がけています。そして、この日本がより人と人が繋がり、思いやりに溢れた社会の実現を目指しております。



Q.事業のやりがいを教えてください。

一番のやりがいはスタッフ、企業様からの声を頂いた時ですね。「こんな良い企業を紹介してくれてありがとう」「屋宜さんのおかげで続いている」というスタッフの声や、「すぐに人を紹介してくれて助かった」「フライ・トップの人はがんばってくれるからありがたい」などの声は心からこの事業をやっていて良かったと思います。

また、社員の成長も嬉しく思っています。このような声を頂いた際、社員の成長のチャンスがあり、社員の成長の過程を近くで見ているのも私の中でやりがいです。



仲間と協力して経験した目標達成の大切さ

Q.学生時代を教えてください。

私は学生時代からずっと野球をしていました。とにかくワクワク楽しく学生生活を送っていたと思います。当時のチームメイトと仲が良く、一緒にビジネスをやっている人もいます。部活では、仲間と協力して一つの目標を達成する大切さを学びました。試合に勝った時の喜びもありますが、負けた時にどう立ち直るかが一番学びになりました。チームとしての絆や、個人の努力の大切さを実感した部活動でした。この経験がその後の社会人生活にも大きく影響をしていると思います。



Q.社長をしていて壁はありましたか？

社長として活動する中で、最大の壁は自分の時間管理でした。多忙な日々が続く中で、どうしても目の前の業務に追われてしまい、戦略的な思考や長期的な計画に割く時間が足りないと感じることもありました。この壁を乗り越えるために、まずは仕事の優先順位を見直しました。重要な業務には集中し、細かいタスクは信頼できるスタッフに任せるようにしました。また、週ごとの時間管理をしっかりと計画し、戦略的な会議の時間を確保することに努めました。これらを行うことによって、社長としてやるべきことにも時間を割くことが出来て、経営を軌道に乗せることが出来ました。



若者の未来を明るくする為に動き続ける

Q.今後の展望を教えてください。

今後の展望としては、人材の育成にも力を入れていきたいと考えています。特に、次世代のリーダーを育てることが重要だと思っています。社員一人ひとりの成長をサポートするため、研修制度を充実させ、キャリアパスを明確にすることで、モチベーションの向上とともに組織全体のパフォーマンスを高めていきます。また、オープンで協力的な組織文化を更に強化し、誰もが意見を発信できる環境を作ること、イノベーションを生み出しやすくすることを目指しています。これらを通じて、更に事業成長を加速させて社長になりたい希望の社員の夢を叶えます。





素敵＝ありのまま 今いる人材を人財へ変える

一般社団法人愛の知から
代表理事 辻 大輔(モヒカン先生)
Daisuke Tsuji

起業家として7つの事業を立上げ、1つを事業を承継し、計8つの会社を経営し全てを成功に導くが、その内の1社が仲間の裏切りによりドン底へ落ちる経験をするも、最終的に完全復活を遂げる。

波瀾万丈な人生から生み出された「生きていくチカラ」が詰まった、独創的なコンサルティングと、魅力開発人財育成がメディアで取り上げられ話題に。

自身が立ち上げた勝率激高の経営塾として人気だったMMB&MBM勝学では400名以上の卒業生を輩出し、その92%が満足度MAXの成功を手に入れている。

魅力を最大化し価値を最高値にしていく経営手法は、人生も経営も満足のいく結果をもたらしている。

今いる人材を人財に変える人財育成家としても活躍。

STAR interview

今いる人材を人財に変える

Q.事業内容について教えてください。

1人ひとりと本気で向き合い、魅力と才能を発掘し個性と主体性を育むことで、次世代を創り、担っていく人財を育てるをコンセプトにした、人財育成家をしています。魅力をブランディングしていくという観点から、子供達から大学生、企業で働く社会人、経営者、個人事業主たちの育成だけではなく、新商品の開発や町興し、企業や事業の飛躍をサポートと、事業範囲は多岐に渡ります。



Q.事業のやりがいを教えてください。

育成していった人達が、自身の持つ魅力と才能でキラキラ輝き、自分らしく行動するようになった姿や、ブランディングをすることで飛躍していく姿を見たとき。人を育てる、会社を育てる、町を育てるということは、未来を創るということでもあり、次世代へ夢と希望、笑顔と幸せを繋いでいくことになる人財育成にやりがいを感じています。



真摯に受け止め、改善を繰り返して前へ

Q.学生時代を教えてください。

今の見た目からは想像できないと思いますが、小学校の頃はイジメにあっていました。中学生になると反骨精神から、どんどん悪い方へ進むようになっていきました。素敵な恩師との出会いによって、子供の頃から好きだった野球に集中するようになり、高校生の時は野球一筋で過ごしました。この歳になってもコツコツ努力ができる能力と、最後まで諦めない気持ちの強さは学生時代に培ったものですね。



Q.今までに大きな壁はありましたか？

壁ですか、、、
失敗を恐れることなく、常に目の前の出来事を真摯に受け止め、反省と修正、改善を繰り返して前へ進んできました。もし壁があるとしたら、それは乗り越える試練でもあり、良き経験になって次のステージに生かされるのかなと思い、苦しいことも辛いことも向かってきました。きっと今日までに壁は、目の前に立ちどかっていたのかもしれませんが、乗り越えてきちゃったんでしょうね。



誰かの想いや挑戦に寄り添える会社を

Q.今後の展望を教えてください。

素には敵わないと書いて素敵と読みます。本来は「ありのままが素敵なんだ」という考えを基に、生き辛さを感じながら人生を歩んでいる人達に、自分らしさで生きていくことの素晴らしさと楽しさを感じ、笑顔溢れる世の中にするために、子供教育、学生教育、人財育成、経営者教育、町興しを通して未来を創っていきます。





自分が自分らしく輝くこと 全ての人が「自分らしく」生きる

魅力診断士協会
会長 石川 深雪
Miyuki Ishikawa

「人は皆、ダイヤモンドの原石」わたしはそう信じています。
外見、内面、経験、価値観... それら全てが組み合わさり、唯一無二の「魅力」を形成しています。
しかし、多くの人がその魅力に気づかず、輝かせ方を分からないまま過ごしています。
600名を超える女性起業家のサポートや、企業の人材育成に携わってきた知識と経験を活かし、
あなたの「魅力」という名のダイヤモンドを見つけ、磨き上げ、輝かせるお手伝いをします。

STAR interview

人の魅力を内面、外面、香りの部分から導き磨く

Q.事業内容について教えてください。

魅力診断士の育成をしています。魅力診断士は人の魅力を内面、外面、香りの部分から導き磨きをかけていく仕事です。診断士自身が自分と向き合いながら、お客様の中に眠る魅力を引き出していけるよう、「やり方」よりも「在り方」や「自分自身の整え方」に力を入れて指導をしています。魅力診断を取り入れることで、企業の人財育成、教育現場や親子関係・夫婦関係の改善、営業職のスキルアップ、コーチング、カウンセリングにプラスして事業を伸ばすこともサポートできます。



Q.事業のやりがいを教えてください。

魅力診断士は、魅力診断のメソッドに自分の得意や魅力をさらに掛け合わせて活動をしています。診断士自身がキラキラと輝く姿を見ることが嬉しいです。そしてその魅力を活かして周りの人を導いていける、「その人の最幸」を作る仕事なので、診断士の周りに笑顔が増えていくのを見ることもわたしにとって最高の幸せです。

女性の笑顔が増えることが社会が良くなることに直結していると感じるので、女性が輝き、自立して稼いでいける社会を作っていくことにやりがいを感じます。



一度きりの人生、自分らしく生きる

Q.学生時代を教えてください。

小中学生の頃は人目を気にしてばかりいるいじめられっ子でした。高校に入り、恩師と出会うことで少し前向きになれましたが自分に自信がないままでした。大学に入学し、陸上部の仲間との時間の中でまた少しだけ自分らしさを取り戻していきました。勉強も運動も好きで成績はいい方でしたが、常に人間関係で悩んでいた学生時代でした。



Q.今までに大きな壁はありましたか？

非常に厳しい父親に育てられ、子どもの頃の記憶は怒られたものしか残っていません。人の顔色を見る、自分の意見は言えないまま大人になりました。職場の人間関係、義父との関係、子育てに悩み、夜逃げをしたり心身を病んでいた時期もあります。ただ、その壁があったからこそ「一度きりの人生、自分らしく生きよう」と思えたので今があります。



誰かの想いや挑戦に寄り添える会社を

Q.今後の展望を教えてください。

すべての人が「自分らしく」生きること、横のつながりを作り困った時に助け合える社会であることを目指しています。元介護士の経験から、その先に「人生最期の時が幸せであるように」その想いを胸に日々歩んでいます。そのためにもまずは自分が自分らしく輝くこと！
これからも周りを巻き込み、魅力を発揮して生きる人を増やしていきます。





誰かの支えになる人へ 着実に前へ進み続ける

日本福祉大学 心理学部

清水 樹

Tatsuki Shimizu

静岡県出身。

コーヒー好きが高じて独立し、コーヒー屋を営む中で、多様な人との出会いを経験する。

次第に“前に出ること”よりも“誰かの挑戦を支えること”にやりがいを感じるようになる。現在は心理カウンセラーを目指し大学生へ。

動画編集やSNS支援を通じて、想いを届けたい人をサポート中。

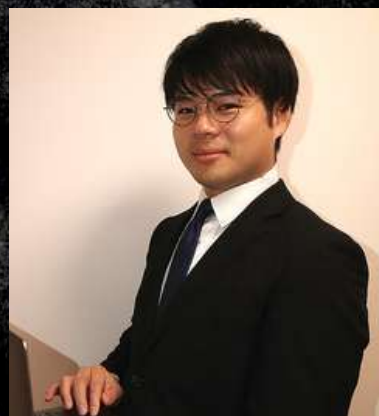
STAR interview

人の心に寄り添う。日々、努力を怠らない

Q.将来の夢や目標は何ですか？

心理学を学び、人の心に寄り添える仕事に就きたいと考えています。学生時代や社会人時代に、自分自身が人間関係や気持ちの扱いに悩んだ経験があり、そのときに心のケアの大切さを実感しました。誰かの不安や孤独をやわらげられるような関わり方を目指したいです。

人の気持ちに寄り添う支援ができる専門職として働いて、相談を受けたり、安心できる場づくりを通して、誰かの心を軽くできるような存在になることが目標です。そのために、心理学の学びと実践を継続し、信頼される人間性を培っていきたいです。



Q.一番力を入れていることは何ですか？

心理学の勉強に力を入れており、講義内容だけでなく関連書籍なども読み、自分の関心を深めています。また、筋トレも継続しており、生活リズムや心の安定に良い影響を感じています。コツコツ続けることで、自己肯定感も少しずつ育っています。

心理学の学びは、人との関わりや自分自身を理解する上で役立つと感じています。また、筋トレなどを習慣にすることで得られた達成感や集中力、自己管理力は、どんな場面でも自信や安定につながると感じています。日々の積み重ねが自分の土台になると信じています。



毎日続けることで、自分に達成感を与える

Q.やる気を維持する為にしていることは？

しっかりと睡眠をとることを大事にしています。疲れていると物事を前向きに考えにくくなるため、まずは体調を整えることを意識しています。また、ひとりの時間を作ることでリラックスして気持ちを立て直しやすくしています。特に藤井風さんの「帰ろう」という楽曲に人生の影響を受けました。これは死生観を歌っている曲で、「何を持って帰ろうか」という歌詞に、自分が本当に大切にしたいものは何かを考えるきっかけをもらいました。焦りや迷いがあるときも、自分のペースで大事なことを選んでいこうと思える曲です



Q.「成長した」と感じた経験は何ですか？

筋トレを習慣にできたことです。「意識を変えるには身体から」と考えて始め、毎日続ける中で達成感を得られるようになりました。また、飲食の仕事で説明不足によりお客様を困惑させてしまった経験から、伝える責任や思いやりの大切さも学びました。



誰かの心を軽くできるような存在へ

Q.これから挑戦したいことはありますか？

人の気持ちに寄り添う支援ができる専門職として働いていくことに向けて、人から相談を受けたり、安心できる場づくりを通して、誰かの心を軽くできるような存在になることが目標です。その為にも、まずは心理学の学びを深め、資格取得や現場経験を通して人の役に立てる力をつけたいです。自分自身の気持ちと向き合いながら、誰かの支えとなれるような人間になれるよう努力していきたいと考えています。焦らず、着実に前に進みたいです。





「その人らしさ」カリグラフィーの表現の可能性をもっと広げる

日本一やさしいカリグラフィー講座運営
MACLE GRAFF
マクル グラフ

1995年、愛知県生まれ。学生時代は音楽活動に没頭し、社会人としては自動車営業を経験。その後、諦めきれなかった動物看護の道に飛び込むも、現実の厳しさに直面し挫折。この経験がきっかけとなり、“人の想いを形にする仕事”に惹かれ、デザインを学び始める。現在はSingにて、採用支援や企業ブランディングに携わるうちに人や企業の魅力を“伝わるカタチ”に変えることに喜びを感じ、将来的にはクリエイティブに特化した会社の設立を目指している。

STAR interview

その先にいる誰かへ想いを届ける

Q.事業内容について教えてください。

ロゴマーク制作・ブランド構築・カリグラフィーサービスを通じて、企業や個人の「らしさ」や「世界観」をビジュアルで表現するクリエイティブサービスを提供しています。私が考えるデザインとは「見た目の良さ」や「かっこよさ」をつくることではありません。本質は、「課題を解決し、想いを届けること」にあると考えています。お客様の「こんな世界観を伝えたい」という願いを汲み取り、最適なビジュアルへと落とし込む。それが、私のクリエイティブの役割であり、MACLE GRAFFが提供するデザインの価値です。



Q.事業のやりがいを教えてください。

一番やりがいを感じるのは、お客様の成果や変化につながっていく瞬間に立ち会えたときです。デザインを通して誰かに届いたり、喜んでもらえたり。お客様が目指す未来に、少しでも力になれたと感じられる瞬間は、本当に嬉しくなります。カリグラフィーに関しては、もっと直接的な手応えがあります。「あなたの文字が好き」「また書いてほしい」そんな言葉を、目の前で届けてもらえることがあり、それが励みになっています。デザインもカリグラフィーも、どちらも「想いを届けるための手段」。その先には、必ず“誰か”がいます。「伝わった」「届いた」と感じられる瞬間こそが、私がこの仕事を続ける一番の理由です。



想いに寄り添い心に届くものをつくりたい

Q.学生時代を教えてください。

小さい頃から、とにかく体を動かすことが好きな子どもでした。走る。跳ぶ。回る。とにかく夢中で、その瞬間を楽しんでいました。中学生のとき、ブレイクダンスに出会ったことがきっかけで、ストリートカルチャーの世界に夢中になりました。気づいた時には、HIPHOPの4大要素といわれる「DANCE」「DJ」「RAP」「GRAFFITI」のすべてに挑戦し、毎日のように練習やイベント準備に明け暮れ、振付制作、楽曲編集、衣装手配など、学生とは思えないほどのタスクをこなす日々を送っていました。今思えば、あの頃夢中で取り組んでいた「誰かと世界観を共有し、カタチにする面白さ」は、まさに今のグラフィックデザインやカリグラフィーの仕事にそのまま繋がっています。



Q.今までに大きな壁はありましたか？

デザイナーとして働いていた頃、私は毎日のように新しいデザインをつくっていました。スピード感が求められる現場の中で、たくさんの案件に関わりながら、クオリティにもとことん向き合い刺激もやりがいもありました。そんな日々の中で、少しずつ違和感が生まれました。デザインが“モノ”として扱われているように感じるが増え、情熱が少しずつ冷めていきました。それが、最初の大きな壁であり、挫折でした。それからは、人の想いに寄り添い、心に届くものをつくりたい。一瞬で消費されるものではなく、誰かの記憶に残るものを届けたい。そんな想いを大切にしながら、今はデザインと向き合っています。



想いを素敵に、もっと魅力的に伝える

Q.今後の展望を教えてください。

カリグラフィーという表現の可能性を、もっと広げていきたいと考えています。「特別な技術」や「一部の趣味」ではなく、もっと身近に、もっと自由に。カリグラフィーだからこそ伝わる言葉の力を、デザインやサービス、さまざまなクリエイティブの中に活かしていけたらと思っています。また、ブランドや世界観づくりにも、より深く関わっていける仕事を増やしていきたいです。ただ“カッコいい”や“おしゃれ”をつくるのではなく、「その人らしさ」や「そのブランドらしさ」が自然と伝わるもの。お客様のイメージや想いが、もっと素敵に、もっと魅力的に伝わるにはどうすればいいか。その方法をとことん考え、「伝わるデザイン」を届けていきたいと思っています。





従業員満足度の向上から 定着率、生産性の向上へ

アクサ生命保険株式会社

木野 竜弥

Tatsuya Kino

愛知県春日井市出身 大学卒業後、ABCマートに就職。
たくさんの人と出会い知識をお伝えしながらご納得頂き感謝をされる事に喜びを感じ、もっとたくさんの人に専門的な知識をお伝えしながら成長過程でお手伝いができる仕事がないかを探し、自動車学校に転職。まだ何も分からない、社会ルールである交通ルールを指導する立場になり、自分自身も大きく成長した。そして、もっともっとたくさんの人にお会いしながら個人として長く支えることが出来ないかと考えた末に、アクサ生命保険に転職し、様々な人、企業の支援を行っている。

STAR interview

デザインの力で企業の魅力を最大限に

Q.事業内容について教えてください。

2つの柱があり、企業の事業補償資金や、社長様従業員様の退職金準備資金などのお話をさせて頂いております。もう1つとして、人手不足により企業が無くなっているの現状があります。そうならないよう経済産業省が提唱している健康経営のサポートをしております。

健康経営とは、企業が従業員の健康状態を把握しそれを経営理念に取り入れて追求することです。

追求することにより、従業員様の満足度が上がり生産性の向上、定着率を向上させるお手伝いをさせて頂いてます。



Q.事業のやりがいを教えてください。

一社一社で抱える課題は異なるため、丁寧にお話を伺いながら、お客様と一緒に問題を共有し、最適な解決策を提案しています。時には難しいご相談もありますが、「安心できた」「ありがとう」といった言葉を直接いただける瞬間は、この仕事をしていて本当に良かったと感じる場面です。保険を通じてお客様の経営や人生に深く関わることによりやりがいを感じています。また、お客様との信頼関係を築いていく中で、自分自身の成長を実感できるのも魅力の一つです。日々の積み重ねが、社会に貢献しているという自信にもつながっています。



無力さを痛感し、本当のやりたいを明確に

Q.学生時代を教えてください。

授け入得意苦してろ解に自の飛で得はばった紐うの時校くどは語伸残のをよさの学手な強英をにな手るしあ小上会勉にと象手苦すしあ。な。大。特こ印苦強す。イ。た。ん。た。な。が。て。補。ぶ。す。し。み。し。し。た。き。の。故。え。て。学。ま。の。ま。に。力。ま。し。し。た。の。故。え。て。思。人。て。の。努。し。で。は。れ。何。考。け。て。思。人。し。な。は。躍。き。君。わ。に。？。見。し。た。と。を。単。と。活。好。「。言。ち。う。を。ま。っ。と。び。簡。あ。り。が。い。と。う。ろ。点。り。な。に。跳。に。の。あ。系。生。！。く。だ。弱。が。に。私。高。な。そ。も。数。先。！。の。う。の。上。礎。は。私。り。ん。、。薦。理。の。う。の。い。の。分。が。基。間。走。こ。い。推。が。塾。も。し。な。自。数。の。時。で。「。思。の。す。た。捆。試。来。、。点。方。と。部。に。て。上。で。い。を。に。出。で、。え。言。上。時。っ。陸。た。て。ッ。直。て。と。ら。考。一。陸。た。！。も。っ。っ。コ。素。し。こ。た。の。の。と。っ？。校。か。通。の。強。す。ど。い。を。物。講。師。高。や。の。高。な。強。す。ど。い。を。物。講。師。中。で。い。し。は。で。勉。ま。、。て。強。の。の。！。小。業。な。賞。で。手。て。い。う。い。の。勉。分。塾。す。



Q.今までに大きな壁はありましたか？

自分自身どこまでやれるのかを試したいと思い、スキルアップのためには転職を繰り返してきたので、日々壁にぶつかっています。特に専門職に就くことが多く、「なぜこんなことをしているのか」と思ふことも多々あります。知識として覚えることは多いのですが、実際にやってみると大変なことが多くあります。その壁を乗り越えたいという気持ちが、世界観が広がっていく中で、自分の考え方や視野が少しずつ柔軟になっていくのを実感し、新しい環境にも前向きに挑戦できるようになりました。



誰かの想いや挑戦に寄り添える会社を

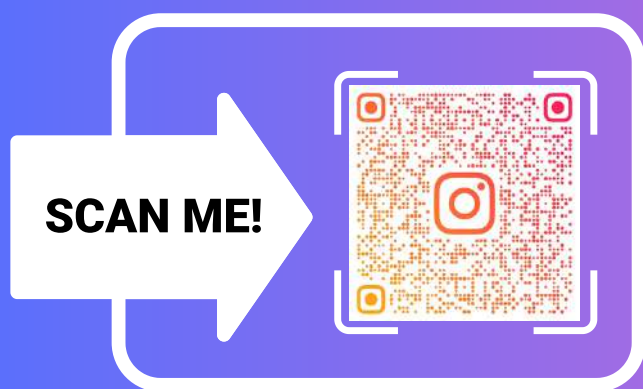
Q.今後の展望を教えてください。

私は私と関わった全ての人から感謝されたいです。ありがとう！助かった！この一言が私の活力になります。時にはお叱りを受けることもあります。それは私を成長させてくれるものだと思っています。そんな私をこれからも必要と思ってもらえるように日々たくさんの人にお会いすることが私の使命であります。そして、これからの将来を不安に思っている人に不安ばかりではなく様々な出来事があり楽しみが沢山あるということをお伝えしたいと思っています。



ゆめスタの取り組み内容

Instagram



最新情報をチェック

公式アカウント

友だち募集中！

夢の見つけ方



① 【好きなこと】を見つめなおす

「時間を忘れて夢中になれること」って何？
ゲームでも、音楽でも、おしゃべりでもOK！
あなたの“ワクワク”が夢のタネになります。

② 【得意なこと】を思い出す

「人よりちょっとできること」「よく褒められること」は何？
自分では気づかない“強み”が、夢につながるヒントに。



③ 【価値観】を知る

お金？自由？安定？成長？人の役に立つこと？
「自分は何を大事にしたいか」を知ると、進みたい道が見えてきます。



6つのステップ

④ 【憧れの人】を見つける

「こんな人になりたい」と思う人は誰？
その人の生き方・考え方・仕事の仕方に、自分の理想が隠れているかも。



⑤ 【いろんな世界にふれてみる】

本を読む、人の話を聞く、新しい場所に行ってみる。
知らなかった“未来の選択肢”が、きっと見つかるはず。



⑥ 【小さな一歩を踏み出す】

いきなり「夢を決める」必要はありません。
「ちょっと気になる」ことを、試してみるだけでOK！
その一歩が、あなたの未来を変えるかもしれません。

夢は、いきなり見つかるものじゃない。
少しずつ、“今の自分”と向き合いながら、育てていくものです！

NEW

ゆめスタ



【ホームページ】

株式会社マルトモ
株式会社マルトモ商事
代表取締役
錦見 裕介様



【ホームページ】

名古屋経済大学
市邨中学校・高等学校
校長
若山 和彦様



【ホームページ】

有限会社 一誠
代表取締役
吉川 立洋様



【ホームページ】

国際交流音楽祭実行委員会
実行委員会委員長
吉麗 明佑美香様



【ホームページ】

テッペンパン
TEPPEN PAN
テッペンパン様



【Instagram】

愛知県議会議員
末永 けい様



【ホームページ】

一般社団法人愛の知から
代表理事
辻 大輔様
(モヒカン先生)



【ホームページ】

魅力診断士協会
魅力診断士協会会長
石川 深雪様



アクサ生命保険株式会社

木野 竜弥様

パートナー紹介



【ホームページ】 株式会社 フライ・トップ



代表取締役
屋宜 勝正様



【ホームページ】 春日井市議会議員
(元競輪選手)
鈴木 宏幸様



【ホームページ】 日本福祉大学



清水 樹様



【ホームページ】 無痛脱毛士
元岡崎市議会議員
柳 賢一様



【ホームページ】 Traliebe Design Office
田中 麻椰様



【ホームページ】 株式会社尾北
代表取締役
河村 和幸様



【ホームページ】 日本一やさしい
カリグラフィー講座 運営
MACLE GRAFF様
マクル グラフ



【ホームページ】 株式会社稲垣製作所
代表取締役
稲垣 強様



【ホームページ】 幸福シンクロパートナー
カウンセラー
tomomi様



夢をスタートして叶えるプロジェクト！



——— 夢をスタートして叶えるプロジェクト

夢を持っていない人には夢を！

夢を持っている人には叶える為に全力で応援を！

ゆめスタは【夢が叶う環境創り】へ向けて全力で取り組みます。

昨今、闇バイトの増加やSNSへの誹謗中傷など、

「若者が夢をみづらい」という声をよく聴きます。

これを若者に押し付けるのではなく

一緒に『若者が活躍できる』『夢を叶える為に応援する』

この社会を皆さんと一緒に創りあげていきたい！！

この思いから『夢をスタートして叶えるプロジェクト』は走り出しました！

企業様、個人、行政、地域と連携して、

ユメスタを進めていき

一緒により良い社会を創りましょう！

社長 渡邊 大輝 TAIKI WATANABE

私はもともと、サッカーでストライカーをしていました。そこから、社会人になり物流会社や派遣会社の仕事をしていましたが、『自分の夢』『やりたいこと』というのが漠然としていました。その中で、素敵な縁で出会ったことで自分の価値観を大きく変えることが出来ました。「誰かが変えるのではなく、自分が変える」この言葉を受け取り、素直に行動し、時間を共にして一緒に道を歩んできました。まだ道半ばですが、自分のやりたいことや夢が明確になり、進んでいるのを実感しています。人と人のご縁を大切にしながら、『全ての人が輝く社会』を皆さんと創りあげたいです。



プレミアムリーグを観て、よく熱くなっています！
サッカー最高！



車の運転が好き！
仲間と出かけるとさも運転して感謝さかれます！www



釣りも好きです！
おもに『メダカ』を釣りにいきます！



常務 田中 麻椰 MAYA TANAKA

私は犬が大好きで飼っています。元々は、動物病院や採用の会社で仕事をしていました。当時から『デザイナー』として仕事をしたいという想いがありました。様々な活動を通して、良いご縁があり『デザイナー』としての仕事をスタート出来ました。今後はこの領域で起業を予定しています。様々な人々の悩みを解決し、サポートしていきたいと考えています。今後、経済的に厳しい状況が予想される中で、個人の力を最大限に引き出せるようなスキルを身につけ、その人の人生を支えられる存在になりたいと思っています。デザインを通じて誰もが自分らしく活躍できる社会を創ることに貢献していきたいと強く感じています。



うちの可愛いふくちゃんです！
我が家のアイドル(・ω・)!!



何かとデザインするのが趣味！
趣味が仕事にでているので最高！



コスプレにも挑戦しています！w
アニメも好きです！



常務 青柳 慧 AKIRA AOYAGI

私は元ラグビー部でハカが得意です。仕事としては、車のディーラーや人材関係、コンサル関係の会社で仕事をしていました。人材関係の会社で今の代表と出会って、漠然と過ごしていた毎日から『やりたい』と思う仕事内容が出てきて、叶いそうだと確信して、一緒に仕事をさせてもらっています。今、仕事で悩んでいる人もいと思いますし、壁にぶつかっている人もいと思います。私は運がよく素敵な出会いに恵まれました。一步を踏み出すかどうか、がすごく大切だと感じています。周りにいる仲間と助けられ、時には助けて笑顔多めで日々を過ごしています。人間関係で悩まないって幸せです。そんな私もまだ見ぬ誰かの力に少しでもなりたと思っています。そのために、もっと力をつけて、もっと影響力を持てるように、日々をがんばり楽しみます。



ラグビーで一緒に戦った仲間との思い出は最高です！



自慢の一瞬レフによるカメラ撮影が趣味であり得意です！



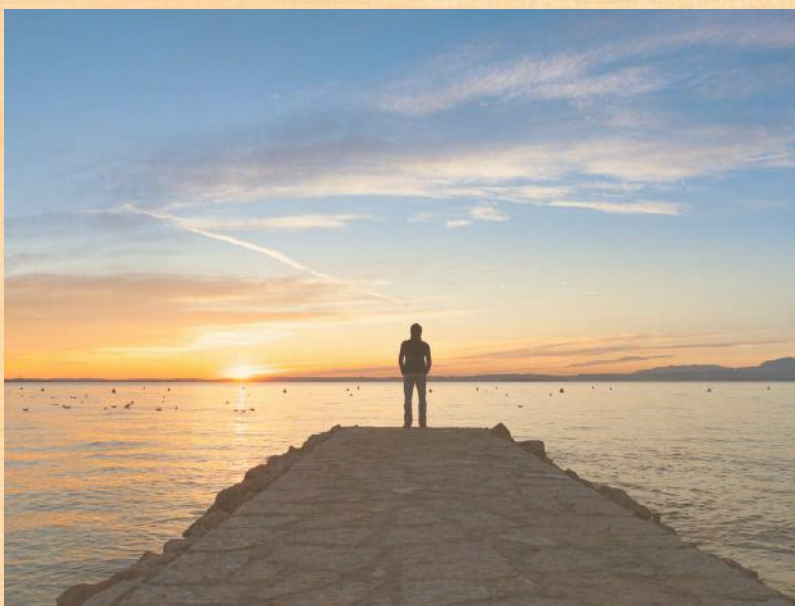
愛車はミニクーペです！
MTでドライブを楽しんでいます！





夢を見つける

好きなこと、楽しいこと
自分のなりたい姿
自分だけの夢



夢へと進む

夢に向かってスタートする
少しでもいい、無理はしない
楽しんで進む



夢を叶える

夢を夢で終わらせない
実現させる
美しい人生と未来へ

皆様の想いをのせて、これからもはばたき続けます

株式会社Sing



夢をスタートして叶えるプロジェクト